

目標 若田宇宙飛行士の功績や活躍を啓発し、子どもたちをはじめとする市民の宇宙への興味・関心を一層高め、夢や希望をはぐくむ。

平成25年12月から約6ヶ月間、4回目の長期滞在を予定している当館の名誉館長である若田宇宙飛行士は、日本人初の国際宇宙ステーションのコマンダー（船長）に就任します。そこで、そのフライトを応援し、同氏の功績や活動の様子を広く市民に伝えることにより、子どもたちをはじめとする市民の宇宙に対する興味・関心を一層高め、夢や希望をはぐくみます。この事業は平成25・26年度の2か年事業として計画しています。

事業内容

- 1 若田宇宙飛行士の活躍の様子などを視覚化した企画展示の実施
- 2 若田宇宙飛行士打ち上げカウントダウンイベントや交信イベントの開催

課題 若田宇宙飛行士に関する展示の充実、若田氏関連の情報コーナーの設置などが必要である。

具体的な事業内容

1 企画展「(仮称)若田宇宙飛行士展」

(平成25年12月～)

- ソユーズ宇宙船の船内模型の展示
- 船外活動用宇宙服のレプリカの展示
- これまでの宇宙での活躍の紹介
- 幼いころの絵・作文等の展示



企画展示のイメージ

**2 若田宇宙飛行士
打ち上げカウントダウンイベントや交信イベントの開催**

- 「打ち上げカウントダウンイベント」
ソユーズ打ち上げの当日、市民の皆様と一緒に、LIVE映像を見ながら、4回目の宇宙への旅立ちを祝福し、今後の活躍を応援する。

(平成25年12月)

- 「交信イベント」
国際宇宙ステーション（ISS）と会場を映像と音声で結び、小中学生が若田宇宙飛行士と交信する。

(平成26年3月)

効果

- 1 子どもたちが、宇宙に対する興味・関心を高め、夢や希望をもつようになる。
- 2 子どもたちを含め市民の間に、さいたま市への誇りが高まり、郷土愛が深まるようになる。

1【平成26年度 若田宇宙飛行士顕彰事業（案）】

参考

・企画展「(仮称)若田宇宙飛行士展」 ・若田光一宇宙飛行士さいたま市帰還報告会

2【若田宇宙飛行士3回目のフライト時の事業（平成20～21年度）】

平成二十年
度

企画展「ISS・若田光一宇宙飛行士展」
展示のほか、講演会やワークショップ等を開催
平成21年1月31日（土）～3月22日（日） 科学館 特別展示室
来場者数：14,942名 報道関係：2社

スペースシャトル打ち上げカウントダウン
平成21年3月16日（月） 科学館 プラネタリウム
参加人数：100名 報道関係：11社



交信イベントの様子

平成二十一年
度

国際宇宙ステーションライブ交信イベント
若田宇宙飛行士と10万人の宇宙飛行士「見たい！聞きたい！試したい！」
平成21年4月24日（金） 科学館 青少年ホール、プラネタリウム
参加人数：550名 報道関係：14社

「若田光一宇宙飛行士さいたま市帰還報告会
～国内初報告 4ヶ月宇宙に住んでみて～」
平成21年10月25日（日） 大宮ソニックシティ大ホール
参加人数：2,300名 報道関係：8社



帰還報告会の様子
©JAXA